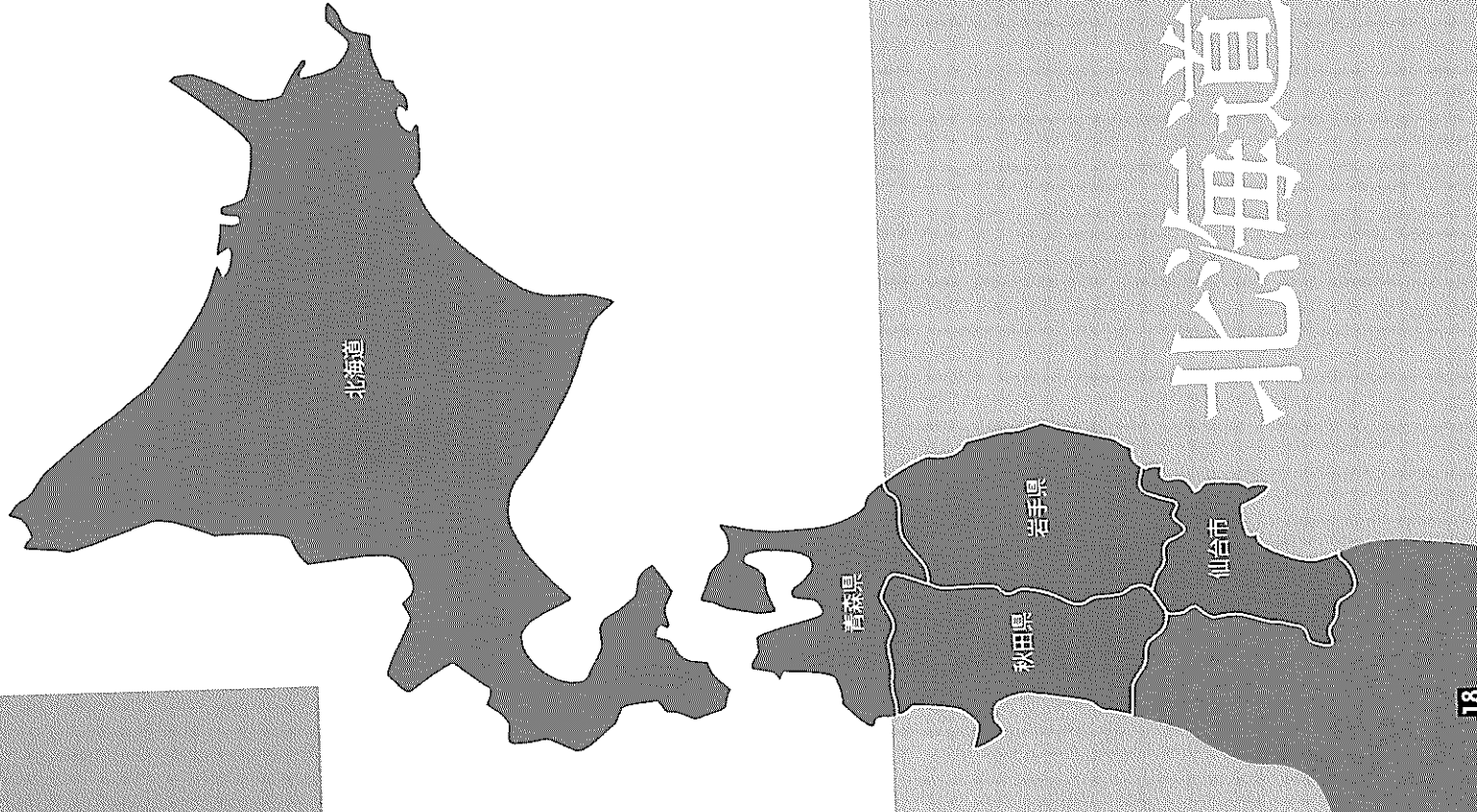


全国に広がった友愛活動

「他人事ではない」という気持ちから全国各地の老人クラブでは、県または市町村老連で、あるいは単位クラブが自主的に支援活動に取り組み、さまざまな友愛活動を展開した。その一例を紹介する。



「いきいきシヨール」の参加者には北海道老連からのジャガイモが配られた

北海道老連 被災老連の元気回復事業に参加し、特産物を贈る

尼崎市老連に「友愛の手紙」を送った北海道老連は、平成7年10月13日に開催された尼崎市老連主催の「100%元気回復！いきいきシヨール」で、北海道産のジャガイモ3トンを参加者に配付、大変喜ばれた。同シヨールには北海道老連の伊藤会長と事務職員が参加、北海道での震災に寄せられたあたたかい支援のお返しにと被災者を激励した。

北海道・東北

北海道

- 北海道老連 女性部が尼崎市老連に「友愛の手紙」を送付。
- 恵庭市老連 平成7年、尼崎市老連に「友愛の手紙」と「友愛の年賀状」を届けた。
- 江別市老連 尼崎市の「宝珠会」に平成7年6月と8月に「友愛の手紙」、6月に「友愛の寄せ書き」、12月に「友愛の年賀状」を送った。平成8年12月にも江別市老連「ミニ通信」で「友愛の年賀状」を呼び掛けた。また「友愛の手紙」がきっかけとなり、「宝珠会」会長の来道時に懇談会を開いた。
- 北見市老連 平成8年8月に女性部が主体となり、尼崎市老連に慰問の手紙、12月に年賀状を送った。
- 登別市老連 平成8年1月に女性部が主体となって尼崎市老連に年賀状を送り、手紙の交流は

現在も続いている。

- 室蘭市老連 女性部が主体となり、平成7年8月に尼崎市老連に「友愛の手紙」と女性会員の手づくりの追花を送った。
- 上富良野町、池田町、遠軽町の各老連 遠軽町老連は平成7年6月に女性部が中心となり、尼崎市老連へ「友愛の手紙」を送付。12月に遠軽町老連と上富良野町老連、平成8年12月に池田町老連から尼崎市の「宝珠会」に年賀状を送った。

青森県

- 青森県老連 西宮市老連へ「友愛の手紙」を送付。

岩手県

- 盛岡市老連 各単位クラブから届けられた約100通の手紙を戸屋市老連へ送付し、被災者からお礼状をいただいた。

仙台市

- 仙台市老連 役員、女性部委員、事務局職員の寄せ書きを神戸市灘区老連へ送付。
- 青葉区中山川平地区、太白区生田地区、泉区の各老連 神戸市灘区老連へ「友愛の手紙」を送付。
- 泉区老連南光台第二天寿会 神戸市灘区老連へ「友愛の手紙」を送ったほか、コーラスグループ「コールゆかり」の「友愛の声」を録音し、そのテープと楽譜も同時に届けた。
- *その他の区老連・各地区老連・単位老人クラブからも神戸市灘区老連へ「友愛の手紙」を送付した。

秋田県

- 大曲市老連女性部 ポケットサイズに50個を作り、手紙とともに送った。

「友愛の手紙」から広がった交流活動

手紙を書くにあたり、「手書きにする」、「返信を求めない」、「切手、便せん、封筒を同封する」(返信用ではなく、何かに役立てて欲しいという願いから)、「返信があったら交通を継続する」などの約束事を決め、約3か月で女性会員の心に250通を超える手紙が寄せられた。それは、同じ高齢者だからこそ話せる、そんな思いにあふれた手紙であった。会員から寄せられた手紙を秋田県老連職員が直接現地に届けるなど、さまざまな方法が試みられた末、西宮市老連から全面的な協力の申し出があり、西宮市老連から被災会員に手紙を届けてもらうこととなった(その後の活動については32ページを参照)。